

卒業おめでとうございます

Congratulations graduation! Message from the teacher

にやうへきといふやうな時
に伝えてきた言葉です。楽しむ
べき時は楽しむ、頑張るべき時
は頑張る、嬉しい時は喜び、悲
しい時は悲しむ、素直に
涙を流す、我慢しなければなら
ない時は我慢する、等々。これ
からの人生、自分の思い通りに
面において、自分の思うやうに
いかなことがあろう。そんな
人は、その時にできること
を一生懸命にやってみよう。卒
業おめでとう。



一組
担任
竹内
篤志

人から相手にされなかったり誹謗中傷を受けたり、自分について悪い口を思いがけず耳にしていたとき「それは違う」「誤解だ!」と言って反論・反発してその経験はありませんか。そしてその効果はなく、もの分かれたり終わって体力気力が消耗した経験はありませんか。まともにぶつかったても何の効果もない。ほとんどの場合、腹が立つ相手と関わっていても、ストレスがたまるだけで何にもならない。私たちが実感している日常です。「腹が立つたら自分を磨け」小説家村上春樹さんの言葉です。自分が幸せになるために、人生を生きるうえで、これがとても有効な手段です。これまでもくららない相手にかまっていたくらないなら、自分を磨くことに全精力を注ぎましょう。卒業は自分を変えるきっかけになります。



三学主任
茂野 淳一

四組 担任
猫塚 郷司

三年生から四組の担任となり
ましたが、改めて生徒に育てら
れたと感じる一年間でした。あ
りがとう。

息や歴史が、学て線い
十年後を見通した正しい判断が
できるような努力を続けることを
期待しています。

「トを切ることになります。これからは、さらに多くの『判断』が必要になるでしょう。その時の判断材料は、みんなの心の中

この言葉がありました。「人の瞳が背中についていけないのは、前に向かい生きていく使命があるから」「自分が今すべきことを見つけないさい。例えそれがどんなに小さなことであつたとしても、自分の将来につながる大事なことであるならば、全力で取り組みなさい。」

胸を張って、自身を持って周りの人に宣言できるような、皆さん一人一人の新たな目標を掲げて、これからの人生に向かつて下さい。

三組 担任
伊藤 亮二

卒業おめでとうございます。学校祭や修学旅行、球技大会など各種行事で精一杯頑張るみんなの姿は本当に頼もしかったので、卒業と同時に、新たなスタート。



二組 担任
藤井 正太

授業中、楽しそうに活動している顔、真剣な顔。がんばった時に照れた顔、嬉しいう学校行事での悔しい顔、毎日にあふれたみんなの笑顔。いつまでも見ていたいたくさんの表情を見せてくださいね。

たから



六組
担任

り逃げ出したくなることもあ
でしよう。そんな時は、「受け入
れる」を思い出してください。
何年後かに大きく成長した皆さ
んに会えるのを楽しみにしてい
ます。

五組 担任
伊藤 聡

覚えておいて欲しいこと。捨
捨をする人はいい人だ。とは限
らない。チョコレイトをくれた
から優し人ととは限らない。人
は本音で話すとは限らない。本
人が偉いとも限らない。先生が
いつも正しいとも限らない。こ
から受けたアドバイスが役に立
つとは限らない。だからここで
はアドバイスの代わりにみんな
にお願いをしよう。どんな人
でも生きて欲しい。死なない人
欲しい。どうせいつかは死ぬの

生徒の皆さんはこの先の人生
良い事も悪い事も起りますが
どんなことも「受け入れるか、レ
うか」でその後の結果が大きく
変わってきます。立ち上るこ

待つ、の精神です。「縁」を大事にし、の精神です。自力や因果関係を越えた不思議な出会いや出来事、に世界は満ちています。「恩」を感じましよう。決して「怨」ではなく、自分が今生きていること自体に感謝して、精一杯生きましよう。

たい。こうなればいいという見
通しと信念は大事です。「因」を
弁えましょう。自分の過去、立
ちはだかる現実、すべて経緯と

入学生に配られる「学校生活のしおり」に、「向上心を養い、強い精神力で、努力を継続することこそが目的達成の王道です。」という武田校長の言葉がある。この言葉の重みを味わえた人は、いい高校生活を送った人だ。時は誰にも平等に分配されているといわれることがあつたが、問題はその過ごし方だ。荒井由実の歌に、こんなフレーズがあつた：時はいつの日にも親切な友達 過ぎてゆくきのうを物語にかえる：さて、皆さんの物語はどんな物語だろう？

八組 担任
大阪 隆

七組 担任

ガンバレ！ ファイト！ 創成

あなたの応援が一番嬉しいから

札幌創成高等学校

体育・文化後援会だより

全道・全国大会出場報告!!

陸上部

全道駅伝を終えて

二年七組 坂本 葉月

私は昨年行われた全道高校駅伝にチーム目標の「必笑」を掲げ臨みました。結果は四位という悔しい結果に終わりました。私は五区間のうち二区を任せられ、一年生の時選ばれることが出来た分、とてもうれしく感じると同時に責任感もありました。駅伝当日は初めてのことが多く、緊張していても自分が出た瞬間、先輩から襷を受け取った時は、自分がやるんだという思いでレースに臨むことができました。当日は各自が責任を持って取り組み、チーム全員で駅伝に臨むことができたと思います。目標は達成できませんでしたが、この経験を活かし、各自が改善すべきところを改善し、日々の練習や地道なトレーニングを重ね、チーム全体の完成度を上げ、三年生が引退した今、この新たなメンバーで、今年の十月に行われる全道高校駅伝に臨みたいと思います。



太鼓部

全道・全国大会出場について

二年三組 小笠原 梨乃

私達太鼓部は今年の夏、長野県で開催される全国大会に出場します。去年よりも良い演奏ができるよう、部員全員で最高の舞台が作れるよう、日々の練習に励んでいます。去年の冬、釧路市で行われた全道大会に出場した創成太鼓部は、優秀賞(第2位)という結果に終わりました。審査員の方からの評価の中で冬の練習が大事だと言われた私達は、まず基礎に力を入れることにしました。部内全体でミーティングをして、新しい目標を決めた今の練習では、基礎中心に頑張っています。少しでも曲のレベルを上げるため、音の強弱や叩き方、太鼓以外では発声など細かい所の見直しも始めました。今ではリズムやテンポなどにも注目するなど、個人でも全体でも成長してきています。全道大会の



ボランティア部

アフリカに靴を送ろう!

昨年度の卒業生からの取り組みですが、校内で履いていた「指定靴」でまだ十分に履ける靴を提供いただき、アフリカの子供に送る活動を行っています。昨年の三月に日本リザルツに送り、その後「エチオピアのエスンバ村」の子供達に届けましたとの礼状が平成二十九年七月に届きました。今年も、ボランティア部とfield work 同好会から卒業生に呼びかけています。きちんと洗って送りますが、是非ご協力をお願いいたします。

サッカー部

元日本代表、川口能活選手 (SC相模原) 来校!

去る平成二十九年九月二十六日に大手製薬会社のイベントの一環で、日本サッカー界を代表する川口能活選手が来校されました。本校サッカー部に対し川口選手が直接、全体を指導してくださり、選手たちは貴重な経験を積むことができ、新たな気付きを得ることができました。



美術部

さっぽろ雪まつりに参加

雪まつりに参加して
一年七組 魚谷 夕珠

私は雪像作り自体初めての参加でした。午前の雪はとても固く、少し削るだけでも手が痛くなるほどの力が必要でしたが、午後からは雪も少し軟らかくなり、削りやすくなってきました。ペースがあがり、無事に完成しました。とても楽しく、よい経験になりました。



二月一日
第19回 さっぽろ雪まつり
「北海道高文連
スノーアレンジコンテスト」参加

各部・個人 大会結果

● サッカー部

- ・全国高等学校サッカー選手権大会 北海道大会
平成29年10月9日(月)～10月15日(日) 1回戦敗退
- ・高円宮杯U-18サッカーリーグ2017 プリンスリーグ北海道 参入戦(苫小牧市)
平成29年10月21日(火)～10月29日(日) 準優勝(来年度より昇格)

● 陸上部

- ・第33回女子北海道高等学校駅伝競走大会(標茶町マラソンコース)
平成29年10月14日(土) 第4位
一区 小倉三桜雪(3-6) 二区 坂本 葉月(2-7) 三区 蓮尾 綸(3-8)
四区 高橋愛莉沙(2-5) 五区 蓮尾 綾(3-8)

● 女子バスケットボール部

- ・第30回北海道高等学校バスケットボール新人大会(帯広市)
平成30年1月25日(木)～1月28日(日) ベスト8

● 書道部

- ・第51回全道高等学校書道展・研究大会
平成29年10月11日(土)～10月13日(月)函館アリーナ
優秀賞 戸田 春輝 (3-5)



● 野球部

- ・第70回秋季北海道高等学校野球大会札幌支部予選(札幌市)
平成29年9月4日(月)～9月11日(月)
Dブロック2回戦 対 札幌藻岩 5-4
準決勝 対 札幌琴似工業 7-2
決勝 対 札幌静修 6-5
- ・第70回秋季北海道高等学校野球大会(札幌市)
平成29年10月1日(日)～10月9日(月)
1回戦 対 函館工業 2-6

● 太鼓部

- ・第52回全道高等学校郷土研究発表大会
(釧路市 生涯学習センター「まなぼと幣舞」)
平成29年11月15日(水)～11月17日(金)
郷土芸能部門 優秀賞(第2位)
- ・平成30年度全国高等学校総合文化祭(長野大会) 出場

サッカー部

全道大会を振り返って

二年一組 河波 櫻士

高校サッカーの集大成である全国高校サッカー選手権大会北海道予選で、本校は一回戦、北海道プリンスリーグに所属していた札幌日本大高校と対戦しました。試合は両校、なかなかゴールを決められず、一進一退の攻防が続きましたが、我々が少し気を抜いた瞬間に決められてしまい、そのまま敗戦という形になりました。勝負の世界はそう甘くはないと痛感した目でした。ベンチで泣き崩れてしまいましたが、このまよいでも何も変わらないなと思い、三年生に心から感謝の気持ちを伝えました。その時、下級生も何人かベンチに入っていたため、三年生から「絶対にこの気持ちではいけないよ」と声を掛けてもらいました。もともと三年生とサッカーがしたかったです。この悔しさを糧に、先輩方のいろいろな思いを心に刻み、来年こそは頑張ろうと決意できた全道大会でした。



書道部

第五十一回全道書道展に参加して

三年五組 戸田 春輝

部員一同で一生涯懸命に練習をし、四名の部員が全道大会に出展することができました。全道大会では、たくさんの生徒の作品が見られたり、交流会などに参加して一緒に作品を作り上げたりしました。また、自分の出展した作品に対して他の学校の先生方がアドバイスをしてくださり、参考になる意見が聞けたので勉強になりました。このように、全道大会に出展することは、自分にとってプラスになることが多くあると思います。なので、後輩の皆さんには毎年全道大会に出展することができるように、努力してもらいたいです。最後になりますが、三年間書道を熱心に教えてくださった顧問の竹内先生、本当にありがとうございました。

